

青森東高校(sustainable scallopsrs)

○テーマ

持続可能なホタテ養殖とブルーエコノミーピュージェット湾回復総合計画に学ぶ！

○目的

シアトルのピュージェット湾でおこなわれてる世界最大規模の牡蠣養殖から陸奥湾のホタテ養殖に活かせることがないかをブルーエコノミーの観点から学ぶ

○概要

10月20日(日)日本出国

10月21日(月)ワシントン大学

10月22日(火)ワシントン州農務省水産養殖部

10月23日(水)ワシントン大学

10月24日(木)パイクプレースマーケットでフィールドワーク

10月25日(金)アメリカ出国

10月26日(土)日本着

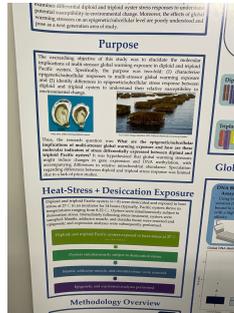
○活動内容

10月21日

ワシントン大学のキャサリン博士から生物の進化についてまなび、魚類の進化や環境の多角的な調べ方を学んだ。また、ロバート博士から遺伝子や染色体の数への変化から貝の地球温暖化への対策を学んだ。

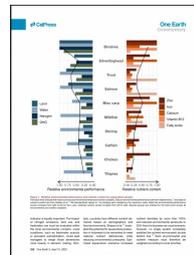
【キャサリン博士とロバートの研究室】





10月22日

ワシントン農務水産省養殖部のローラ・バトラーさんからアメリカの伝統的な養殖方法について学んだ。



10月23日ジェシカ・ゲファートさんから貿易と環境保護、また、養殖と環境の関わりについて学んだ。午後にはシアトルターミナルにて漁師ヘインタビューを行い、実際の漁師さんの声を聞いた。

10月24日ハイクプレイスマーケットにいる人を対象とし、ヒアリング等のフィールドワークを行なった。

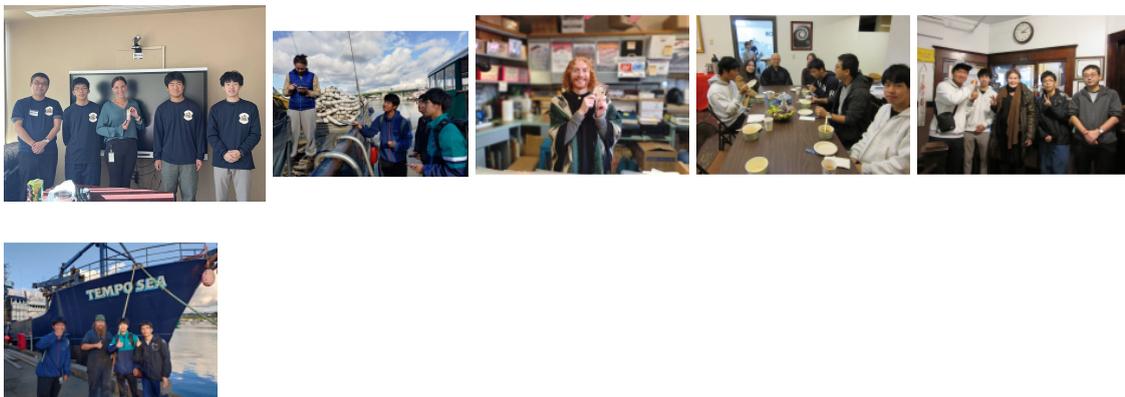


上記が主にシアトルにて行なったフィールドワークであるが、**貝の養殖が環境保全につながることや、温暖化の影響は貝の養殖業にダメージを与えていることがどこでも共通していることがわかった。**

【学んだこと】

- 完璧に伝えなくても、ニュアンスで読み取ってくれること。
- 危険な場所や時間帯などよく調べておくということ。
- 漁師さんが国によって意識が違うことがわかった。
- とりあえず行動してみること

【アンバサダー活動】



青森限定のお菓子やホタテの貝柱などを現地の人にあげ青森をPRした。高野山を訪れた際にはベジタリアン用のカレーを振る舞ってくれた。

【エバンジェリスト活動】

①校内での発表

↓

フィールドワークそのものに興味を持ってもらおうと発表した

②漁師さんへの報告

↓

協力してくれた漁師さんだけでなく知り合いの漁師さんにも学んだことを報告した。今後も継続してコミュニケーションを取り協力していきたい。

【今後の展望】

- 漁師さんたちとの継続的な協力をし、いろんな話をする。

- 総合的な探求の時間を使い、今回のフィールドワークで学んだことを活かしてさらに発展させる。

- 青森でのフィールドワークを行い、実用的な情報を集め、陸奥湾での漁師さんの少しでも力になれるようにする。

- ホタテガイ振興室などの機関とコンタクトをとって、ワシントン大学での研究内容を伝え、またホタテガイ振興室での取り組みを聞く師さんたちとの継続的な協力をし、いろんな話をする。